**久留米大学認定看護師教育センター　入学試験問題　がん薬物療法看護分野**

加齢に伴う機能変化として、正しいのはどれですか。

1. 瞳孔が散大する。
2. 高音域の聴覚が低下する。
3. 味覚が鋭敏になる。
4. 嗅覚の閾値が低下する。

下記のうち、がん抑制遺伝子はどれですか。

1. EGFR
2. BRAF
3. MYC
4. TP53

抗腫瘍免疫機能の低下によって、がんになる過程を示す「がん免疫編集理論」において、

第3相に該当するのはどれですか。

1. 逃避相
2. 排除相
3. 増殖相
4. 平衡相

膠芽腫の特徴として、正しいのはどれですか。

1. IDH遺伝子変異がない。
2. IDH遺伝子変異がなく、かつ1p19q共欠失がある。
3. IDH遺伝子変異がある。
4. IDH遺伝子変異があり、かつ1p19q共欠失がある。

発達課題論(Erik H. Erikson)において「成人前期」に該当する課題は、どれですか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| a． | 同一性 | 対 | 同一性拡散 |
| b． | 勤勉 | 対 | 劣等感 |
| c． | 親密 | 対 | 孤立 |
| d． | 生殖性 | 対 | 停滞 |

Dorothea E. Oremは、「患者が自らの健康のために意図的な行動をとれるようにすることが大切で

ある」と提唱し、意図的行為をセルフケア行動の活動形態の3局面で捉えています。下記のうち、

該当しないのはどれですか。

1. 評価的操作
2. 移行的操作
3. 生産的操作
4. 継続的操作

呼吸困難の評価ツールと内容の組み合わせで、正しいのはどれですか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| a. | NRS | ― | 1から10までの数字をひとつ選んでもらう |
| b. | VAS | ― | 100mmの線上で、患者にマークしてもらう |
| c. | CDS | ― | 得点が低いほど、呼吸困難が強いことを表す |
| d. | STAS-J | ― | 症状への対処の必要性を自己評価する |

がんに伴う高カルシウム血症に関する記述で、適切なのはどれですか。

1. がん患者では、全経過中の2～3％に発症する。
2. 血清アルブミンが高値の場合、血清カルシウム値を補正する必要がある。
3. 肝障害が特徴的である。
4. サイアザイド系利尿薬は禁忌である。

AYA（Adolescent ＆Young Adult）のがんに関する記述で、正しいのはどれですか。

1. わが国においてAYA世代とは、18歳から35歳までと定義されている。
2. A世代では、成人に多いがんが発生する。
3. AYA世代に発生するがんの多くは、一般的に予後不良である。
4. がん相談支援センターでは、就学相談は行われていない。

術前薬物療法の有用性が示されていない疾患は、どれですか。

1. 食道がん
2. 胆道がん
3. 乳がん
4. 膵がん